



## 平成24年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 鹿児島銀行  
コード番号 8390 URL <http://www.kagin.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 上村 基宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 郡山 明久

TEL 099-225-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月24日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	40,088	△0.0	8,632	7.0	4,611	0.9
23年3月期中間期	40,107	△1.4	8,064	△1.9	4,569	△7.8

(注) 包括利益 24年3月期中間期 5,266百万円 (5.1%) 23年3月期中間期 5,009百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期中間期	21.96	—
23年3月期中間期	21.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	3,464,471	254,784	7.0	14.36
23年3月期	3,494,645	250,368	6.9	14.30

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 245,463百万円 23年3月期 241,321百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	△2.5	16,500	25.4	9,000	26.1	42.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 詳細は、2ページ「1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

4. その他

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期中間期	210,403,655 株	23年3月期	210,403,655 株
② 期末自己株式数	24年3月期中間期	499,241 株	23年3月期	492,096 株
③ 期中平均株式数(中間期)	24年3月期中間期	209,907,098 株	23年3月期中間期	209,980,587 株

(個別業績の概要)

1. 平成24年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期中間期	33,401	0.4	7,950	7.5	4,530	0.5
23年3月期中間期	33,241	△1.2	7,394	△1.3	4,504	△5.9

1株当たり中間純利益	
	円 銭
24年3月期中間期	21.58
23年3月期中間期	21.45

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	単体自己資本比率(国内基準)
	百万円	百万円	%	%
24年3月期中間期	3,445,399	241,829	7.0	13.79
23年3月期	3,473,490	237,770	6.8	13.76

(参考) 自己資本 24年3月期中間期 241,829百万円 23年3月期 237,770百万円

(注1)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,500	△2.4	15,000	32.1	8,700	27.4	41.44

※中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、中間連結財務諸表および中間財務諸表に対する中間監査手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提としておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報 .....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	P3
(1) 当中間期における重要な子会社の異動.....	P3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P3
3. 中間連結財務諸表 .....	P4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	P4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	P6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	P8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P11
4. 中間財務諸表(個別) .....	P12
(1) 中間貸借対照表(個別) .....	P12
(2) 中間損益計算書(個別) .....	P14
(3) 中間株主資本等変動計算書(個別) .....	P15
(4) 継続企業の前提に関する注記(個別) .....	P18

※ 平成24年3月期 第2四半期決算説明資料

## 1. 当中間期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間(平成23年4月1日～9月30日)のわが国経済は、東日本大震災の影響により輸出や生産活動は低下したものの、期後半はサプライチェーンの立て直しで持ち直しの動きがみられました。この間、雇用・所得環境は回復に向けた動きに足踏みがみられ、厳しい状況が続きました。個人消費は震災後の自粛ムードによる弱い動きから徐々に上向きました。投資面では公共投資は総じて低調な推移が続き、住宅投資は震災の影響を受けたものの、住宅エコポイントなどの経済政策効果が下支えしました。

地元経済におきましては、生産活動が弱含み、雇用情勢も低調に推移するなど、全体として厳しい状況が続いているものの、九州新幹線全通効果により観光関連が好調となり、個人消費も持ち直しの動きがみられました。

このような金融経済環境のもと、当行グループの当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

連結ベースの経常収益は、役務取引等収益が預り資産販売手数料の増加等により1億28百万円、その他経常収益が貸倒引当金戻入益の計上等により7億76百万円それぞれ増加したものの、資金運用収益が貸出金利息の減少等により8億9百万円減少したことなどから、前中間連結会計期間に比べ18百万円減少して400億88百万円となりました。

一方、経常費用は、営業経費が物件費の増加等により10億42百万円増加したものの、資金調達費用が預金利息の減少等により7億65百万円、その他経常費用が貸倒引当金繰入額の減少等により5億34百万円それぞれ減少したことなどから、前中間連結会計期間に比べ5億86百万円減少して314億56百万円となりました。

この結果、経常利益は、前中間連結会計期間に比べ5億67百万円増加して86億32百万円となりました。

中間純利益は、法人税等合計が6億16百万円増加したことなどから、前中間連結会計期間に比べ41百万円増加の46億11百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金は、前連結会計年度末に比べ447億63百万円減少して2兆9,711億72百万円となりました。なお、譲渡性預金を含めた総預金は、公金預金の増加等により前連結会計年度末に比べ308億5百万円増加して3兆941億74百万円となりました。

貸出金は、一般向貸出金の増加等により前連結会計年度末に比べ258億6百万円増加して2兆1,469億36百万円となりました。

有価証券は、外国証券の減少等により前連結会計年度末に比べ224億86百万円減少して1兆404億96百万円となりました。

純資産は、中間純利益計上に伴う利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ44億15百万円増加して2,547億84百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表しました業績予想を次の通り修正しております。

23年度通期の連結ベースの経常収益は790億円(前期比△2.5%)、経常利益は165億円(前期比+25.4%)、当期純利益は90億円(前期比+26.1%)を見込んでおります。

また、通期の単体ベースの経常収益は655億円(前期比△2.4%)、経常利益は150億円(前期比+32.1%)、当期純利益は87億円(前期比+27.4%)を見込んでおります。

業績予想の前提として、主な市場金利、株価水準は23年9月末の水準をもとに予想しております。また、不良債権処理費用は、連結ベースで年間9億円、単体ベースで年間7億円と予想しております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、平成23年4月1日付で、かぎんオフィスサービス株式会社を存続会社とし、かぎんビジネスサービス株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い、かぎんオフィスビジネス株式会社に商号を変更いたしました。

この結果、平成23年9月30日現在の当行グループ(当行及び当行の関係会社)は、当行、連結子会社7社及び持分法非適用非連結子会社1社で構成されることとなりました。

なお、存続会社及び消滅会社は、特定子会社には該当いたしません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(追加情報)

当中間連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当中間連結会計期間の「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前中間連結会計期間については遡及処理を行っておりません。

3. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	119,061	60,136
コールローン及び買入手形	54,978	82,842
買入金銭債権	8,066	7,814
商品有価証券	231	210
金銭の信託	12,441	12,519
有価証券	1,062,983	1,040,496
貸出金	2,121,130	2,146,936
外国為替	1,515	1,478
リース債権及びリース投資資産	19,605	19,859
その他資産	28,639	28,507
有形固定資産	55,646	55,493
無形固定資産	12,603	11,833
繰延税金資産	2,594	1,710
支払承諾見返	26,178	24,853
貸倒引当金	△31,029	△30,222
<b>資産の部合計</b>	<b>3,494,645</b>	<b>3,464,471</b>
<b>負債の部</b>		
預金	3,015,935	2,971,172
譲渡性預金	47,432	123,001
コールマネー及び売渡手形	30,266	5,365
債券貸借取引受入担保金	41,752	20,192
借入金	47,197	30,266
外国為替	53	25
その他負債	22,929	22,260
役員賞与引当金	50	25
退職給付引当金	824	895
役員退職慰労引当金	670	637
睡眠預金払戻損失引当金	902	902
偶発損失引当金	220	240
再評価に係る繰延税金負債	9,861	9,850
支払承諾	26,178	24,853
<b>負債の部合計</b>	<b>3,244,277</b>	<b>3,209,687</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
資本金	18,130	18,130
資本剰余金	11,216	11,216
利益剰余金	184,139	187,928
自己株式	△331	△335
株主資本合計	213,154	216,940
その他有価証券評価差額金	14,962	15,332
繰延ヘッジ損益	△408	△403
土地再評価差額金	13,612	13,594
その他の包括利益累計額合計	28,166	28,523
少数株主持分	9,046	9,320
純資産の部合計	250,368	254,784
負債及び純資産の部合計	3,494,645	3,464,471

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月 30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月 30日)
経常収益	40,107	40,088
資金運用収益	26,603	25,794
(うち貸出金利息)	20,577	19,939
(うち有価証券利息配当金)	5,881	5,654
役務取引等収益	5,582	5,711
その他業務収益	7,232	7,118
その他経常収益	689	1,465
経常費用	32,043	31,456
資金調達費用	2,195	1,430
(うち預金利息)	1,344	733
役務取引等費用	1,464	1,409
その他業務費用	5,794	5,520
営業経費	20,480	21,522
その他経常費用	2,107	1,573
経常利益	8,064	8,632
特別利益	9	0
固定資産処分益	8	0
償却債権取立益	0	—
特別損失	329	221
固定資産処分損	161	221
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	168	—
税金等調整前中間純利益	7,743	8,411
法人税、住民税及び事業税	2,925	3,100
法人税等調整額	△17	424
法人税等合計	2,907	3,524
少数株主損益調整前中間純利益	4,836	4,886
少数株主利益	266	275
中間純利益	4,569	4,611

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前中間純利益	4,836	4,886
その他の包括利益	173	379
<sub>  </sub> 其他有価証券評価差額金	237	375
<sub>  </sub> 繰延ヘッジ損益	△64	4
中間包括利益	5,009	5,266
<sub>  </sub> 親会社株主に係る中間包括利益	4,752	4,985
<sub>  </sub> 少数株主に係る中間包括利益	257	280

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	18,130	18,130
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	18,130	18,130
資本剰余金		
当期首残高	11,221	11,216
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	11,220	11,216
利益剰余金		
当期首残高	178,666	184,139
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,569	4,611
自己株式の処分	—	△0
土地再評価差額金の取崩	—	17
当中間期変動額合計	3,729	3,788
当中間期末残高	182,396	187,928
自己株式		
当期首残高	△300	△331
当中間期変動額		
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
当中間期変動額合計	△2	△3
当中間期末残高	△302	△335
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	207,718	213,154
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,569	4,611
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	—	17
当中間期変動額合計	3,727	3,785
当中間期末残高	211,445	216,940

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	19,746	14,962
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	246	369
当中間期変動額合計	246	369
当中間期末残高	19,992	15,332
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	△453	△408
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△64	4
当中間期変動額合計	△64	4
当中間期末残高	△517	△403
土地再評価差額金		
当期首残高	13,629	13,612
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	△17
当中間期変動額合計	—	△17
当中間期末残高	13,629	13,594
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32,922	28,166
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	182	357
当中間期変動額合計	182	357
当中間期末残高	33,105	28,523
少数株主持分		
当期首残高	8,343	9,046
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	249	273
当中間期変動額合計	249	273
当中間期末残高	8,593	9,320

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
純資産合計		
当期首残高	248,984	250,368
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,569	4,611
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	—	17
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	432	630
当中間期変動額合計	4,159	4,415
当中間期末残高	253,144	254,784

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

4. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当中間会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	118,821	59,893
コールローン	54,978	82,842
買入金銭債権	7,598	7,275
商品有価証券	231	210
金銭の信託	12,441	12,519
有価証券	1,063,018	1,040,325
貸出金	2,131,221	2,158,160
外国為替	1,515	1,478
その他資産	17,842	18,902
有形固定資産	55,229	55,204
無形固定資産	12,405	11,671
繰延税金資産	1,624	779
支払承諾見返	25,335	24,100
貸倒引当金	△28,774	△27,965
資産の部合計	3,473,490	3,445,399
<b>負債の部</b>		
預金	3,017,217	2,972,445
譲渡性預金	54,552	130,161
コールマネー	30,266	5,365
債券貸借取引受入担保金	41,752	20,192
借入金	37,200	21,558
外国為替	53	25
その他負債	16,904	17,262
未払法人税等	3,160	2,850
リース債務	2,404	2,471
資産除去債務	214	213
その他の負債	11,126	11,727
役員賞与引当金	50	25
退職給付引当金	776	844
役員退職慰労引当金	622	594
睡眠預金払戻損失引当金	902	902
偶発損失引当金	220	240
再評価に係る繰延税金負債	9,861	9,850
支払承諾	25,335	24,100
負債の部合計	3,235,719	3,203,569

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当中間会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
資本金	18,130	18,130
資本剰余金	11,204	11,204
資本準備金	11,204	11,204
その他資本剰余金	—	—
利益剰余金	180,607	184,315
利益準備金	18,130	18,130
その他利益剰余金	162,476	166,184
行員退職手当基金	—	—
固定資産圧縮積立金	344	344
別途積立金	152,000	157,000
繰越利益剰余金	10,131	8,839
自己株式	△331	△335
株主資本合計	209,610	213,314
その他有価証券評価差額金	14,956	15,324
繰延ヘッジ損益	△408	△403
土地再評価差額金	13,612	13,594
評価・換算差額等合計	28,159	28,514
<b>純資産の部合計</b>	<b>237,770</b>	<b>241,829</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>3,473,490</b>	<b>3,445,399</b>

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
経常収益	33,241	33,401
資金運用収益	26,661	25,825
(うち貸出金利息)	20,527	19,903
(うち有価証券利息配当金)	5,994	5,727
役務取引等収益	5,287	5,426
その他業務収益	652	693
その他経常収益	639	1,455
経常費用	25,846	25,451
資金調達費用	2,196	1,446
(うち預金利息)	1,344	733
役務取引等費用	1,605	1,563
その他業務費用	175	106
営業経費	19,846	20,807
その他経常費用	2,021	1,527
経常利益	7,394	7,950
特別利益	9	0
特別損失	329	221
税引前中間純利益	7,074	7,729
法人税、住民税及び事業税	2,596	2,812
法人税等調整額	△25	387
法人税等合計	2,570	3,199
中間純利益	4,504	4,530

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	18,130	18,130
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	18,130	18,130
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
当期首残高	11,204	11,204
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	11,204	11,204
<b>その他資本剰余金</b>		
当期首残高	4	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	4	—
<b>資本剰余金合計</b>		
当期首残高	11,208	11,204
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	11,208	11,204
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
当期首残高	18,130	18,130
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	18,130	18,130
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>行員退職手当基金</b>		
当期首残高	296	—
当中間期変動額		
行員退職手当基金の取崩	△296	—
当中間期変動額合計	△296	—
当中間期末残高	—	—
<b>固定資産圧縮積立金</b>		
当期首残高	344	344
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	344	344

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
<b>別途積立金</b>		
当期首残高	146,297	152,000
当中間期変動額		
別途積立金の積立	5,702	5,000
当中間期変動額合計	5,702	5,000
当中間期末残高	152,000	157,000
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	10,376	10,131
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,504	4,530
自己株式の処分	—	△0
行員退職手当基金の取崩	296	—
別途積立金の積立	△5,702	△5,000
土地再評価差額金の取崩	—	17
当中間期変動額合計	△1,741	△1,291
当中間期末残高	8,635	8,839
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	175,446	180,607
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,504	4,530
自己株式の処分	—	△0
行員退職手当基金の取崩	—	—
別途積立金の積立	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	17
当中間期変動額合計	3,664	3,708
当中間期末残高	179,110	184,315
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△300	△331
当中間期変動額		
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
当中間期変動額合計	△2	△3
当中間期末残高	△302	△335
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	204,485	209,610
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,504	4,530
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	—	17
当中間期変動額合計	3,661	3,704
当中間期末残高	208,147	213,314

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	19,733	14,956
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	250	367
当中間期変動額合計	250	367
当中間期末残高	19,983	15,324
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	△453	△408
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△64	4
当中間期変動額合計	△64	4
当中間期末残高	△517	△403
土地再評価差額金		
当期首残高	13,629	13,612
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	△17
当中間期変動額合計	—	△17
当中間期末残高	13,629	13,594
評価・換算差額等合計		
当期首残高	32,909	28,159
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	186	355
当中間期変動額合計	186	355
当中間期末残高	33,096	28,514
純資産合計		
当期首残高	237,395	237,770
当中間期変動額		
剰余金の配当	△839	△839
中間純利益	4,504	4,530
自己株式の取得	△3	△4
自己株式の処分	1	0
土地再評価差額金の取崩	—	17
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	186	355
当中間期変動額合計	3,848	4,059
当中間期末残高	241,243	241,829

- (4) 継続企業の前提に関する注記(個別)  
該当事項はありません。